



印度山日本寺第五世竺主 半田孝淳猯下がご遷化されました

去る2015年12月14日、インド・ブッダガヤ印度山日本寺首座であられる第5世竺主半田孝淳猯下(第二百五十六世天台座主)がお亡くなりになりました。享年99歳。当協会には財団設立の準備当初から御尊父の故・半田孝海大僧正(長野善光寺大勸進)に隨身されて「インド日本寺建設準備委員」として、またご尊父ご遷化後には財団設立となった当協会の評議員としてお働き下さり、天台座主ご就任後の2009年(平成21年)にいち早く竺主就任を御受諾下さいました。



50年余りに及んで御牽引ご愛顧を下さり、ついには現竺主ご在任中の先ほどのご遷化まで当協会最長老であられ、全ご生涯にわたり印度山日本寺を慈しみ下さいました。言葉で言い尽くせぬほどの感謝でございます。謹んで御霊の安らげくを念じあげます。

合掌



大菩提寺へ晋山報告後の
半田猯下

日本寺NEWS

お写経納経いたしました

祐天寺様のご協力をいただきまして2015年6月から毎月1回開催の写経会においてご参加の皆さまからお納めいただきましたお写経170巻、また公益社団法人全日本仏教婦人連盟様による光明施療院運営支援の為に納めいただいたお写経150巻を、2016年1月20日に日本寺へ納経いたしました。納経に先立ちまずブッダガヤ大菩提寺本尊に奉載。そして、お釈迦様がお悟りをひらかれた菩提樹前で納経奉告。皆様の祈願成就を祈念し読経いたしました。引き続き正本事務総長導師のもと、日本寺本堂で納経法要を厳修いたしました。お写経は日本寺に奉納、永代に渡り奉安させていただきます。多くの方々のお写経による日本寺護持へのご協力に感謝申し上げます。



大菩提寺内ご本尊釈迦如来像前に奉載



お釈迦様お悟りの菩提樹前で奉告

写経会の様子

写経会では本堂での法要後、各宗派の僧侶による法話がございます。お仕事帰りの方や、ご家族でご参加の方など幅広い年齢層の方々にご参加いただいております。また、写経終了後のお茶の接待がございます。どうぞお気軽にご参加ください。



日本寺本堂での納経法要

写経会のご案内

般若心経を写経いただきます。事前申込み・道具は不要です。毛筆・筆ペン・ボールペン・鉛筆をご用意しております。

【2016年開催日】6/10 7/8 9/9 10/7 11/11 12/9(金)18:00~20:00(17:30受付開始)

【場所】祐天寺 書院(東京都目黒区中目黒5-24-53)

【内容】法要・法話・写経 ※途中参加も可能。【納経料】2,000円(ご寄附として頂戴します。)

【アクセス】東急東横線祐天寺駅徒歩5分、JR恵比寿駅より用賀行バス祐天寺前

1977年（昭和52年）、地域の貧困家庭の子どもを対象に1クラス40名2年保育から開始した菩提樹学園の無料教育事業は、教育内容の充実をはかり1986年に3年保育に移行して保育園児数を増やし、現在では1学年2クラス、総園児数約210名に加え入園準備クラス約100名で教育事業を行って参りました。お陰様で開園以来約1700名の卒園生を送り出すことができました。しかしながら、近年著しい寄附金の減少に加えて、現地物価高騰等で運営経費が年々増加し、現状の運営が厳しい状況となって参りました。誠に心苦しい選択ではありますが、2016年度入園児童数を70名（2クラス）から35名（1クラス）へ縮小させていただくこととなりました。

2015年度卒園式(3月19日) & 2016年度入園式(4月1日)



卒園式で年長児から年中児へロウソクの灯を伝達

68名の園児が卒業試験をパスして卒園できました。18名がSTMG上級小学校（全教科英語授業学校）へ入学金、学費半額免除での入学が決定しました。学力はあるが貧困のため学費の支払いが困難な子としてソバー主任教諭が学校側へ交渉した結果によるものです。その他大半の園児は、授業料無料のため数少ない特定の学校への入学希望者が年々増える中、希望校への試験を合格し、68名全員が小学校進学を果たしました。卒園式では卒園証書の授与、小学校で使用するカバン等の記念品が贈られました。35名の新入園児たちは、日中しばらく親元から離れる不安もなく、早速元気いっぱいの笑顔で通園しています。



新入園児たち

施薬と新しい医師、そして新しい医療器具と

平成27年度の光明施療院事業は前々年におきた医師の死去後に採用に取り組んだ後任医師候補の厚遇要求を受け切れず交渉も不調で採用が叶わず、やむなく前年に引き続いて医師の処方箋に基づいて薬を無料供与する「施薬」の事業に特化しました。医師不在とはいえ、看護師・薬剤師・医療助手など有資格者を擁して薬品庫に備蓄のあった光明施療院は施薬活動だけでも地域住民への福祉向上に大きく繋がっています。

インドが宣伝する無料医療行政は有名無実で、実際に日本寺のあるビハール州で医療機関に掛かりますと、単純な下痢などの症状でさほど名の売れていないクリニックに掛かっても初診料が360円～540円、診察料540円～900円、処方箋料360円～1440円（1ルピー＝1.8円で換算）は最低限コストが掛かります。単純筋肉労働者で日当約350円（ビハール州最低賃金法の規定）の収入で大勢の家族を養わなければならないブッダガヤで人口の大多数を占める下層階級の人々にとっては処方箋を入手するだけでも大変な金額ですから、肝心カナメの薬まではとても手が出ないのです。

幸いに、このほどは折り合える待遇条件での医師が見付かり、現在手続き中です。ただ、医療奉仕開始以来の35年間使い続けてきて劣化が著しい医療器具は新規調達を求められており、至急に対応しなければなりません。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

◎医療器具買い替えサポーターを募集しております(1口3,000円)◎

お知らせ

ご芳名の公表ならびに芳名版への掲示について

長きに渡り皆さまからの日本寺事業へのご支援に改めて感謝申し上げます。

護持会費のご納入ならびにその他ご寄附を頂戴いたしました方のご芳名を感謝の意を表しまして、今年度よりニュースレター等に公表させていただきたく存じます。また、ご寄附いただきました方のご芳名を日本寺・菩提樹学園・光明施療院の各芳名版へ掲示いたします。お名前前の公表をご希望されない場合、事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

- 日本寺本堂芳名版
- 菩提樹学園芳名版
- 光明施療院芳名版
- 護持会費等
- ペアレントメンバー
- 診療奉仕の会

1万円以上
ご寄附の方



日本寺本堂芳名版



日本寺本堂掲示内容

- 1万円以上ご寄附の方 25cm×6cm
- 10万円以上ご寄附の方 25cm×12cm

海老名市 神奈川県	目黒区 東京都	東京都目黒区
岡山桃太郎	印度山日本寺	印度山日本寺

個人様 法人様

2016年3月をもって結婚退職をされたルパ・クマリ先生（1993年菩提樹学園卒業）に伺いました。

Q：家族構成は？

A：雑貨店を営む父親、専業主婦の母親、兄1人、5人姉妹の8人家族で育ちました。

Q：菩提樹学園を卒業後の進路は？

A：初めはティカリ(村名)にある公立小学校、それからパチャッティ(村名)の私立(上級小学校)で学んでから、パチャッティにある女子の進級学校(単位取得校)で11プラスの資格を取ってガヤカレッジ(学部大学)に進み、カレッジを修了してマガダ大学の大学院に入学、化学を専攻し修士学位を取得。

専門は、イノデリック、つまり*インオーガニック(無機生化学)です、*Inorganic。(註*:Inorganicのうちのinodric(慣用語)は「動植物生体内における無機物質の機能と作用機序の研究」)

大学院卒業後、仕事には就かず家事を手伝っていました。



Q：せっかく化学を勉強して、大学院まで行き、本当はもっとやりたいことがあったのではないですか？

A：そんなことはありませんでした。化学を勉強したいという気持ちは子どもの頃からあったんです。それで一生懸命勉強しているうちに首席レベルまで成績が上がったので、『化学をやっているんだな』と思って。でも、化学を学んで、それで身を立てようなんて気持ちはありませんでした。うちにもそんなにお金はありません。将来のことを考えてること…なんて、できないんです。ただ、化学の分野に興味があったから学んだだけでした。

Q：菩提樹学園の教員となったきっかけは？

A：菩提樹学園を卒業してからも試験休みとかにときどきこちらに来ていました。その後、大学院が終わってからは時間に余裕ができたので頻繁に来るようになりました。ここで学んでいる子ども達を見てい



家庭訪問の様子

と、私もここで学ぶことをはじめたんだという思いが湧いてきて。そうやって子ども達を見てい

るうちに、この子ども達に私が得たもの、与えられたもの、勉強するというのを伝えられたら…と思うようになったんです。こちらに来てい

Q：菩提樹学園の園児時代に印象に残っていることはありますか？

A：私が入って受け持って下さったのはアニタ先生でした。アニタ先生は私たちを本当に心底慈しんで下さり、よく教えてくださいました。とっても感謝しています。

Q：菩提樹学園の子ども達をどう思いますか？

A：子ども達はここで学べて幸せです。十分な教育環境ですし、子ども達もよく努力しますし、またよく勉強できます。



卒業式で記念品授与を手伝うルパ先生

Q：もう退職されますが、今までを振り返っていかがでしたか？

A：在職中はとっても幸せでした。でも、ここを去らなければならないのは…幸せでないんです(涙声)んん…。(結婚相手の)家はガヤですけど、その勤め先がバグドン(Bhagdonpur)なので、そちらで暮らすことになると思います。遠いです。そうは帰って来られませんが…。

ルパ先生、ありがとうございました。どうぞお幸せに。機会があれば菩提樹学園にまた遊びに来ていただきたいと思います。

ご支援のお願い

当協会ではインド・ブッダガヤへの更なる福祉活動の推進を図るため、印度山日本寺運営をご支援いただく護持会員、ならびに菩提樹学園、光明施療院の運営をご支援いただくサポートプログラムを設けております。

現在、財政的支援の減少により事業運営が厳しい状況に陥っています。どうか、皆さまの温かいご支援をいただきたくお願い申し上げます。

◆ 護持会員のご案内 ◆

年会費 個人会員:5,000円 法人会員:10,000円 維持会員:100,000円(いずれも1口以上)

◆ ヒューマンサポートプログラムのご案内 ◆



- ・菩提樹学園年間ペアレントメンバー 年会費:10,000円
- ・園児1人の文具代3,000円・1クラス(35名)分の給食代1,000円
- ・光明施療院年間サポートメンバー年会費:10,000円
- ・医療器具買い替えサポーター3,000円



プログラムの他、任意の金額でご寄附をお願いしております。Webサイトからクレジットカードでのご寄附も可能です。菩提樹学園年間ペアレントメンバー、光明施療院年間サポートメンバーを3年間ご継続いただいた方には記念品を贈呈致します。

▽郵便振替▽ 00110-4-5493 加入者名 公益財団法人国際仏教興隆協会

▽銀行振込▽ 三菱東京UFJ銀行 中目黒支店 普通預金 0127885 公益財団法人国際仏教興隆協会

※平成24年度より内閣府の認定を受けた公益財団法人として運営され、御寄附頂きました金額は「税額控除」「所得控除」の対象となります。

お釈迦様ご成道の聖地UNESCO世界遺産インド・ブッダガヤ 印度山日本寺駐在僧募集

募集人員：若干名

年齢：健康であれば特に問いません

条件：僧籍保有者 宗派問わず（宗派・寺院師僧の推薦状必須）単身赴任

任務内容：日課勤行および訪問者への応待ならびに各国仏教寺院との国際合同行事参加出仕や法務および軽微な事務

▽正規駐在僧▽

期間：6ヶ月～2年（期間応相談）

待遇：渡航費用・海外旅行保険・駐在慰労金・現地雑費手当
日本寺で駐在中の食・住費用等は当方負担

▽短期駐在僧▽

期間：1ヶ月～3ヶ月

待遇：渡航費用自己負担 日本寺で駐在中の食・住費用等は当方負担



webサイトに元駐在僧滞在記掲載しております

公益財団法人国際仏教興隆協会

webサイト<http://www.ibba.jp/> 随時更新中！

印度山 日本寺

検索



@indo_nipponji



ibbajp

フェイスブック・ツイッターも更新中

※Webサイトをお持ちの会員様は、リンクさせていただきます。

メール(jimukyoku@ibba.jp)でホームページURLをご連絡ください。



役員会開催予定日

5月30日 第15回理事会

6月16日 第8回評議員会

編集発行

公益財団法人国際仏教興隆協会

東京都目黒区中目黒5-24-53

TEL03-3711-7608 FAX03-3711-7673

e-mail : jimukyoku@ibba.jp

<http://www.ibba.jp/>